

令和4年度 工業用水道事業会計 予算の概要

令和4年度の主要施策

当局では、令和3年11月に令和3年度から令和12年度までの投資計画と財政計画を定めた「福島県企業局経営戦略」を策定いたしました。

経営戦略では、

- (1) 安定供給のための運営体制の強化、老朽化施設の更新及び施設の強靱化と財源確保
- (2) 工業用水道事業ごとの将来を見据え、個別原価主義を踏まえた料金設定と需要開拓の推進
- (3) 効率化を踏まえた経営の健全性確保

を策定方針としております。

令和4年度は、この方針に基づき、主要施策を着実に推進してまいります。

(1) 安定供給のための運営体制の強化、老朽化施設の更新及び施設の強靱化と財源確保

- ①適切な維持管理
- ②老朽施設の計画的更新
- ③施設の耐震化
- ④管路の複線化
- ⑤施設の強靱化

(2) 工業用水道事業ごとの将来を見据え、個別原価主義を踏まえた料金設定と需要開拓の推進

- ①料金算定要領に基づいた原則5年ごとの料金単価見直し
- ②経営基盤の安定に向け、関係機関と連携した需要開拓の推進

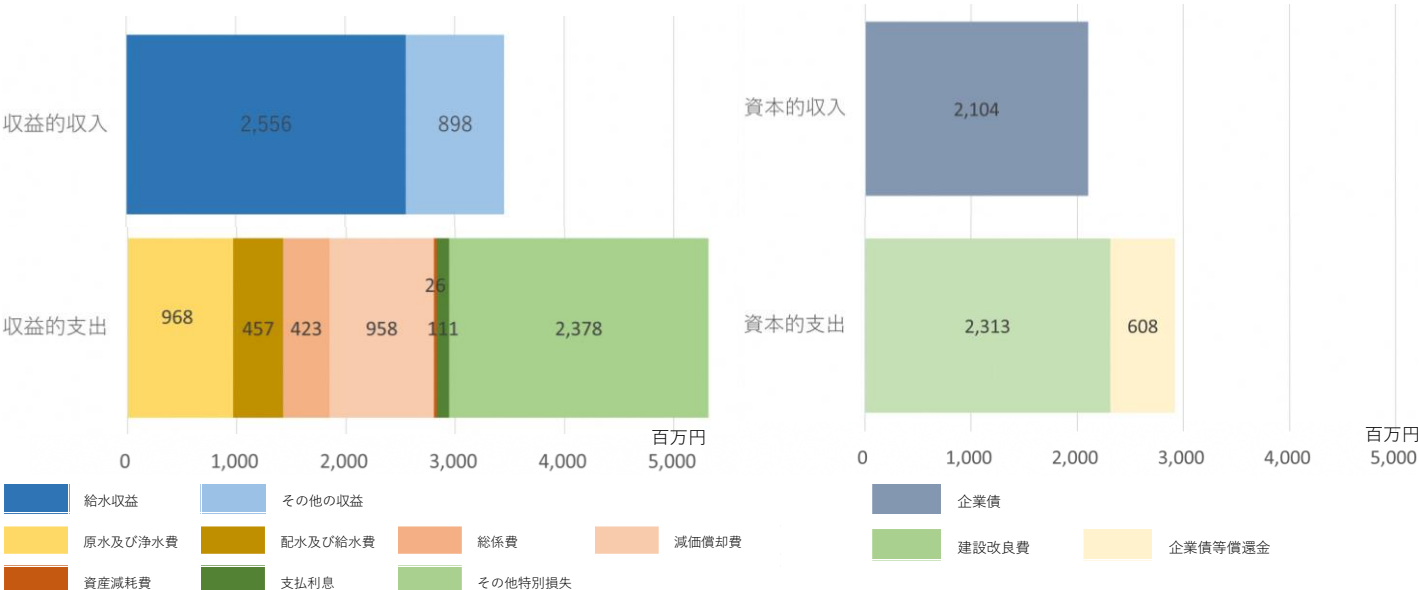
(3) 効率化を踏まえた経営の健全性確保

- ①組織体制の見直し、人材の育成、定員の管理、給与の見直し
- ②民間の資金・ノウハウの活用
- ③効率的な資金管理、調達
- ④情報公開

令和4年度予算の概況

□ 収益的収支
(事業の運営・管理などに関する収入・支出)

□ 資本的収支
(施設の建設改良などに関する収入・支出)



※ 1 収益的支出のその他特別損失は、好間工業用水道譲渡に伴い譲渡資産の処分のため残存価格を計上したものの(令和4年度限り)。
※ 2 資本的収支の不足額は、内部留保資金(減価償却費など現金支出を伴わないもの)などで補てんします。

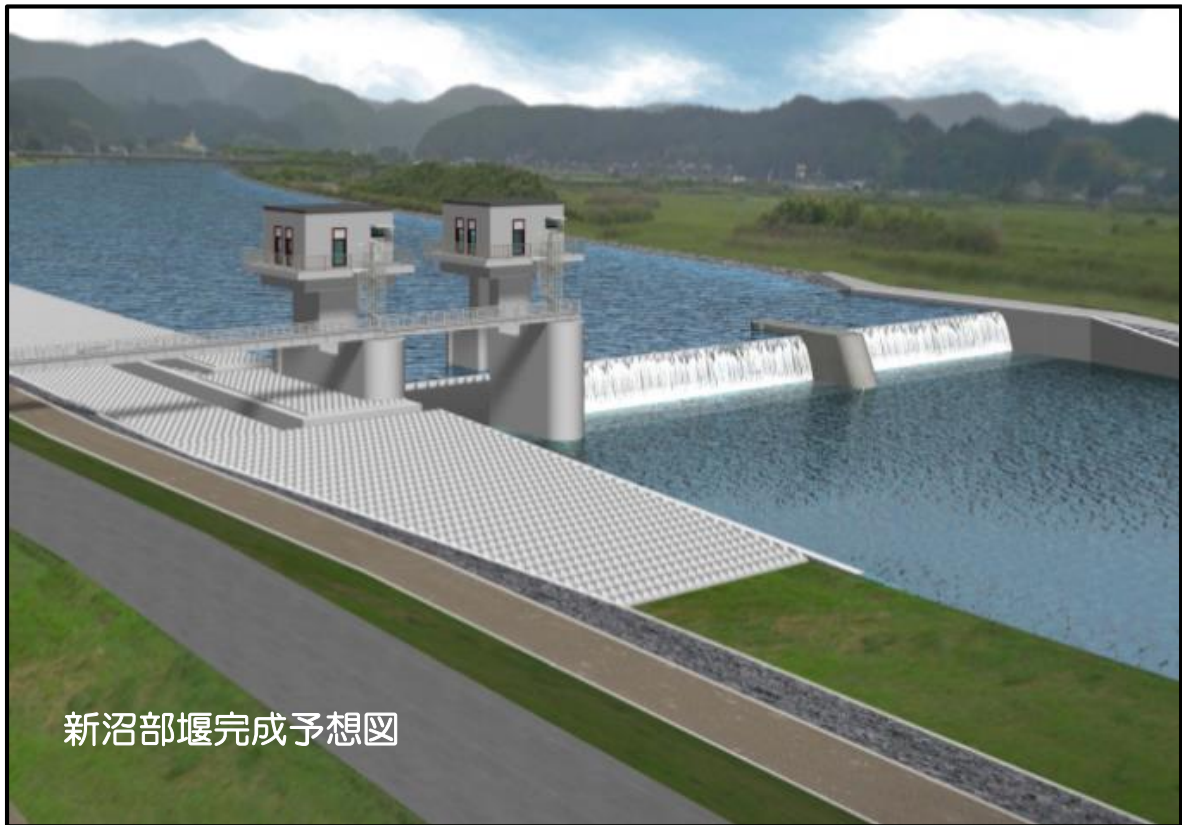
令和4年度事業規模の概要

- 給水件数・・・74件
- 年間総給水量・・・323,325,980立方メートル（1日平均885,824立方メートル）

令和4年度の主要施設整備事業

「福島県企業局経営戦略」に基づく令和4年度の主要な施設整備事業は、以下のとおりです。

- 沼部堰改築工事（1期）勿来工業用水道・・・・・・・・・・5,000万円
（令和4年度～令和6年度継続費・・・15億5,000万円）
立地する企業への安定供給を図るため、沼部堰の改築工事に着手いたします。
- 機械設備更新工事（初野浄水場）相馬工業用水道・・・・・・1億2,000万円
（令和4年度～令和5年度継続費・・・・・・4億3,000万円）
立地する企業への安定供給を図るため、汚泥掻寄機の更新を行います。
- 導水管布設工事（添野接続）磐城工業用水道・・・・・・・・・・8,000万円
（令和4年度～令和5年度継続費・・・・・・3億円）
立地する企業への安定供給を図るため、相互連絡管として機能を持たせる新たな管路を布設します。



新沼部堰完成予想図